

Glossary

グロッサリ

■ ビジネスアナリシス知識体系 (BABOK: Business Analysis Body Of Knowledge) [ビーエーブック, バボック]

カナダに本拠を置く IIBA (International Institute of Business Analysis) が策定したビジネス分析の知識体系である。2009年に Version 2 が刊行された。高度なビジネスアナリストの育成を目的として、認定制度 CBAP (Certified Business Analysis Professional) を 2006 年から実施している。

■ IEEE Std 830-1998 Recommended Practice for Software Requirements Specifications

ソフトウェア要求仕様書 (SRS: Software Requirements Specifications) の作成に関するプラクティスを整理したものである。SRS の内容の枠組みや SRS が持つべき特性などが規定されている。

■ ISO/IEC/IEEE 29148:2011 Requirements Engineering

システム、ソフトウェア開発ライフサイクルプロセス (SLCP: Systems and Software Engineering - Life Cycle Processes) の標準である ISO/IEC 12207 に対する上流工程の拡張として 2011 年に策定された、要求工学プロセスの標準である。繰返し型プロセスをとり、同一レベル内での繰返しをイテラティブ (Iterative) プロセスと呼び、異なるレベルにわたる繰返しをリカーシブ (Recursive) プロセスと呼ぶ。

■ IT スキル標準 (ITSS: IT Skill Standard)

経済産業省と情報処理推進機構 (IPA) により策定された IT に関する知識。2011 年に V3 が公開された。スキル要素とそのレベルを定義したものであるコンサルティング、IT アーキテクト、プロジェクトマネジメント、IT スペシャリストなど 11 職種、35 専門分野について 7 段階でスキルレベルを設定している。レベル 4 以上を高度 IT 人材としている。レベル 1 ~ 4 は情報処理技術者試験と対応づけられている。

■ ソフトウェア工学知識体系 (SWEBOK: Software Engineering Body Of Knowledge) [スウェーブック]

ACM と IEEE Computer Society により策定されたソフトウェア工学の知識体系である。2004 年に刊行され、2005 年に、ISO/IEC からテクニカルリポート ISO/IEC TR 19759 として発行されている。全体が 10 の知識領域からなり、その 1 つとしてソフトウェア要求がある。2013 年に V3 の公開が予定されている。

■ V 字モデル

ソフトウェア開発のプロセスモデルの 1 つ。V 字モデルでは、要求分析、設計、実装といった 3 つの開発工程を V 字の左側に対応させ、単体テスト、結合テスト、受け入れテストの工程を V 字の右側に対応させる。これによって、V 字の左右の斜面で、要求仕様に対して受け入れテスト、設計仕様に対して結合テスト、実装に対して単体テストというように、開発工程とテスト工程を対応づけることで、各テストの役割を明確にしている。

■ エスノグラフィ (Ethnography)

要求工学に適用される場合は、ユーザの業務環境に開発者が入り、ユーザと共に業務を行うことで、インタビューなどによっては得られない業務の背景や約束事、それらの重要性などを学ぶ活動を指す。エスノグラフィを要求獲得活動に導入することで、要求の根拠を理解することが可能となり、的確な情報システムを開発することが可能となる。

■ 共通フレーム

情報システム開発における発注者と受注者の間の取引におけるプロセス、用語を定めている。ISO/IEC 12207 を基礎とし、我が国における開発に適するように改変している。1994 年に初版が公開され、2007 年に IPA/SEC から公開された版を共通フレーム 2007 と呼ぶ。2013 年 3 月に共通フレーム 2013 が公開されている。

■ ステークホルダ (Stakeholder) [利害関係者]

要求, あるいは, 要求が定めるビジネスや情報システムに
関与する人, あるいは, 組織. 具体的にはユーザ,
開発出資者, 製品購入者, プロジェクト管理者, 開発者,
さまざまな領域の専門家 (SME: Subject Matter Expert),
法律, 慣習, 市場, などを含む.

■ 超上流プロセス

一般に上流プロセスとは要求工学が適用される開発プ
ロセスを指す. 特に超上流プロセスと言う場合, ビジネ
ス要求やシステム要求を分析するプロセスを指す. 共通
フレームでは企画プロセス, 要件定義プロセスが相当
する.

■ 非機能要求 (NFR: Non-Functional Requirements)

機能要求以外の要求を意味するが, その内容は品質要
求と制約である. 制約には開発上の制約に加え法令遵守
も含む.

■ プロジェクトマネジメント知識体系 (PMBOK: Project Management Body Of Knowledge) [ピンボック]

1969年に米国で設立されたPMI (Project Management Institute)が1996年
に初版を発行したプロジェクト管理の
知識体系. 2009年に第4版が刊行され
た. プロジェクトマネジメントの高度
専門家としてPMP (Project Management
Professional)の認定制度が実施されて
いる.

■ ペルソナ (Persona)

ペルソナはユーザの深い理解を促す
ためのモデルである. 年齢や性別など
の属性に加え, 対象領域における役割
に基づいて想定される振舞いや嗜好な
ども定義される. 製品やソフトウェア
が使われる状況を具体的にシナリオに
表し, ペルソナの視点から要求を抽出
する.

■ ユーザ経験 (UX: User Experience)

製品やソフトウェア, サービスを使ったときに, ユー
ザが体験したり知覚, 認知すること. このとき, ペル
ソナを用いてユーザ経験が分析される場合もある. User
Experience MapやCustomer Journey Mapは, 製品やソフ
トウェアがユーザに提供するサービスを介して, ユーザ
の経験や感情を可視化するツールの例である.

■ 要求, 要件 (Requirements)

現状システム (As-Is)から将来システム (To-Be)を実現
するために, 現状システムの課題を解決し, 将来システ
ムの目標を達成するためにステークホルダやシステムが
持つべき能力. ここで, システムは人を含む組織や情報
処理システムを含む.

■ 要求工学知識体系 (REBOK: Requirements Engineering Body Of Knowledge) [アー ル・イー・ボック]

(一社) 情報サービス産業協会により策定された要求
工学の知識を実務の視点から整理, 体系化したもので
ある. 2011年に第1版が刊行された.

(青山幹雄, 中谷多哉子)

表-1 要求工学の主要用語対照表

英文用語	REBOK	SWEBOK	BABOK	共通フレーム
Analysis	分析	分析	アナリシス, 分析	分析
Behavior	挙動, 振る舞い	振舞い, ビヘイビア	振る舞い	—
Business	ビジネス	—	ビジネス	業務/事業
Domain	ドメイン	問題領域, ドメイン	ドメイン	ドメイン
Elicitation	獲得	抽出	引き出し	抽出
Feature	フィーチャ	フィーチャ	フィーチャー	—
Interface	インタフェース	インタフェース	インターフェース	インタフェース
Management	管理	マネジメント, 管理	マネジメント	管理
Product	プロダクト, 製 品, 成果物	プロダクト, 製品, 成果物	プロダクト	成果物
Requirements	要求	要求	要求	要求/要件
Stakeholder	ステークホルダ	利害関係者	ステークホルダー	利害関係者
Trace	トレース	トレース	追跡	—
Traceability	トレーサビリティ	追跡可能性	トレーサビリティ	追跡可能性
User	ユーザ	ユーザ	ユーザー	利用者/ユーザ
Validation	妥当性確認	(妥当性)確認	妥当性確認	妥当性確認
Verification	検証	検証	検証	検証
View	ビュー	見方, ビュー	ビュー	—